

高齢者あんしん相談センター活動計画(令和3年度)

《高齢者あんしん相談センターむさしの》

1 日常生活圏域(第1圏域)

(令和3年4月1日現在)

町会名	町会別人口	65歳以上人口	高齢化率	75歳以上人口(再掲)	後期高齢化率
羽沢1丁目町会	2,995	828	27.6	457	15.3
羽沢2丁目町会	1,723	374	21.7	206	12.0
渡戸東町会	3,086	980	31.8	561	18.2
渡戸3丁目町会	2,236	702	31.4	379	16.9
勝瀬町会	7,271	886	12.2	409	5.6
シティヴェールふじみ野町会	1,139	223	19.6	90	7.9
南畑第1町会	1,278	352	27.5	156	12.2
南畑第2町会	1,592	426	26.8	215	13.5
南畑第3町会	801	244	30.5	104	13.0
南畑第4町会	791	197	24.9	87	11.0
南畑第5町会	490	183	37.3	99	20.2
合計	23,402	5,395	23.1	2,763	11.8

2 施設など

- | | |
|--------------------|-------------------|
| ① 介護老人福祉施設(特養) 3ヶ所 | ⑥ 地域密着型通所介護 2ヶ所 |
| ② 介護老人保健施設 2ヶ所 | ⑦ 認知症デイ 0ヶ所 |
| ③ グループホーム 0ヶ所 | ⑧ 居宅介護支援事業所 5ヶ所 |
| ④ 有料老人ホーム 1ヶ所 | ⑨ 公民館・交流センター等 3ヶ所 |
| ⑤ 小規模多機能 0ヶ所 | |

3 令和2年度活動評価及び課題

＜評価＞

予定していた活動(介護予防講座、オレンジカフェ等)は、新型コロナウイルス感染拡大のため、令和2年2月以降は殆ど開催できず、地域の皆様の顔を見る機会が減りました。積極的な実態把握訪問は控え、相談件数も大幅に減少したため、高齢者あんしん相談センターむさしの便りを作成し、高齢者世帯へ配布しました。年度後半から、ZOOMの活用(研修や地域ケア会議、地域防災等)の機会が増え、オレンジカフェでは地域の方が体験できるよう試みました。IT機器の準備や必要な人員の確保、Wi-fi環境が十分でないため、継続活用には繋がっていません。

＜課題＞

今までは顔の見える関係づくりが、多くの相談の受け皿になっていました。地域からは活動の再開を期待する声が聞かれます。今後は、災害や感染拡大が起きても、地域と協力関係を築き、活動方法(場所や人数、回数等)の工夫や、ネット環境(メールやオンライン相談等)の利用で、新しい顔の見える関係を作り、繋がりが持てることで、地域がさらに元気になるような支援が必要だと思われます。

4 令和3年度活動計画

(1) 総合相談支援業務

- ・高齢者が安心して相談できる拠点であるとともに、地域の特性やニーズを把握のために実態把握に赴き、早期の支援や対応に取り組めます。
- ・見守り体制（高齢者サロン参加、介護予防講座、高齢者見守りネットワーク等で）の構築と啓発活動に努めます。

(2) 権利擁護業務

- ・高齢者虐待や消費者被害を未然に防止するため、日頃から啓発活動に努め、事例を把握した場合は、速やかに関連機関と連携を図り、適切な対応を行うとともに、二次被害防止に努めます。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

- ・介護支援専門員の個別の相談や、困難事例への対応等を専門的見地から後方支援します。
- ・自立支援に向けたケアマネジメントと課題解決能力を高めるため、介護支援専門員の情報交換の場の提供（ケアマネサロン）やケアマネジャー研修会を、5包括で連携し、実施します。

(4) 介護予防ケアマネジメント

- ・事業対象者や要支援者に対し、自立した生活を送ることができるように、適切なアセスメントとケアプランの作成を行います。
- ・実態把握、総合相談、出前講座等の機会において、何らかの支援を要する場合、健康増進センターと連携し、必要な介護予防活動等へ繋がめます。

(5) 地域ケア会議の実施

- ・地域ケア会議（圏域・個別）に於いて地域課題の抽出やニーズを把握し、具体的な解決方法等に向けて協議・検討します。（適宜、オンラインを活用）

(6) 認知症総合支援

- ・認知症の方の見守り支援の体制づくりのため、地域への普及啓発活動や認知症サポーター養成講座、オレンジカフェを開催します。
- ・認知症相談支援として、電話相談（オレンジダイヤル等）を実施し、状況に応じて認知症初期集中支援チームと連携・支援を行います。
- ・在宅で認知症の方の介護をしている家族の相談窓口（認知症地域ケア相談室）として、介護技術や方法について適切な助言・対応に努めます。

(7) 医療と介護の連携

- ・医療と介護を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で在宅生活を送れるよう、関連機関と連携し、より良い支援ができる体制づくりに努めます。（医療と介護の連携会議や研修の参加、地域医療・介護相談室への相談等）

(8) 生活支援体制の充実に向けたニーズの把握

- ・市や生活支援コーディネーターと連携し、高齢者の住みやすい地域づくりを支援します。

(9) 家族介護支援

- ・適切な介護の知識・技術の習得、介護負担軽減、情報提供等のために、介護者の状況に応じた相談方法での対応、介護者（介護職等含む）教室の開催、介護者サロンの後方支援を行います。

資金収支予算内訳表
令和3年4月1日

高齢者あんしん相談センター
むさしの

(単位：円)

勘定科目		合計	地域包括	
収入	0165 介護保険事業収入	26,862,000	26,862,000	
	0171 居宅介護支援介護料収入	2,692,000	2,692,000	
	8162 介護予防支援介護料収入	2,692,000	2,692,000	
	0173 その他の事業収入	24,170,000	24,170,000	
	8183 受託事業収入	24,170,000	24,170,000	
	0200 受取利息配当金収入	1,000	1,000	
	8541 受取利息配当金収入	1,000	1,000	
	0201 その他の収入	234,000	234,000	
	8612 利用者等外給食費収入	232,000	232,000	
	8613 雑収入	2,000	2,000	
	事業活動収入計(1)	27,097,000	27,097,000	
事業活動による収支	支出	0129 人件費支出	24,137,000	24,137,000
		7112 職員給料支出	14,673,000	14,673,000
		7113 職員賞与支出	4,052,000	4,052,000
		7114 非常勤職員給与支出	2,009,000	2,009,000
		0001 給与	1,909,000	1,909,000
		0002 賞与	100,000	100,000
		7116 退職給付支出	534,000	534,000
		7117 法定福利費支出	2,869,000	2,869,000
		0001 社会保険料 給与分	2,160,000	2,160,000
		0002 社会保険料 賞与分	550,000	550,000
		0003 労働保険料	159,000	159,000
		0130 事業費支出	672,000	672,000
		7215 保健衛生費支出	14,000	14,000
		7223 水道光熱費支出	238,000	238,000
		0001 電気	120,000	120,000
		0002 水道	27,000	27,000
		0003 ガス	91,000	91,000
		7225 消耗器具備品費支出	120,000	120,000
		7232 車両費支出	300,000	300,000
		0131 事務費支出	2,233,000	2,233,000
		7311 福利厚生費支出	70,000	70,000
		7313 旅費交通費支出	2,000	2,000
		7314 研修研究費支出	51,000	51,000
		7315 事務消耗品費支出	43,000	43,000
		7316 印刷製本費支出	1,000	1,000
		7319 修繕費支出	42,000	42,000
		7321 通信運搬費支出	122,000	122,000
		7322 会議費支出	50,000	50,000
		7323 広報費支出	50,000	50,000
		7324 業務委託費支出	342,000	342,000
		7326 保険料支出	151,000	151,000
		0001 火災	9,000	9,000
		0002 自動車	142,000	142,000
		7327 賃借料支出	1,043,000	1,043,000
		7328 土地・建物賃借料支出	36,000	36,000
		7329 租税公課支出	20,000	20,000
		7331 保守料支出	5,000	5,000
		7332 渉外費支出	27,000	27,000
		7333 諸会費支出	2,000	2,000
		7335 雑支出	176,000	176,000
0001 支払手数料	3,000	3,000		
0002 共助会費	173,000	173,000		
0137 支払利息支出	9,468	9,468		
7441 支払利息支出	9,468	9,468		
事業活動支出計(2)	27,051,468	27,051,468		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		45,532	45,532	

施設整備等による収支	収入	0206 設備資金借入金収入	206,250	206,250
		8751 設備資金借入金収入	206,250	206,250
		施設整備等収入計(4)	206,250	206,250
	支出	0143 設備資金借入金元金償還支出	340,897	340,897
		7511 設備資金借入金元金償還支出	340,897	340,897
		0147 その他の施設整備等による支出	206,250	206,250
		7551 駐車場整備費支出	206,250	206,250
		施設整備等支出計(5)	547,147	547,147
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		-340,897	-340,897
	その他の活動による収支	収入		
その他の活動による収入計(7)				
支出				
		その他の活動支出計(8)		
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)				
予備費支出(10)				
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		-295,365	-295,365	
前期末支払資金残高(12)		3,120,974	3,120,974	
当期末支払資金残高(11)+(12)		2,825,609	2,825,609	

高齢者あんしん相談センター活動計画(令和3年度)

《高齢者あんしん相談センターふじみ苑》

1 日常生活圏域(第2圏域)

(令和3年4月1日現在)

町会名	町会別人口	65歳以上人口	高齢化率	75歳以上人口(再掲)	後期高齢化率
山室町会	2,693	834	31.0	429	15.9
諏訪1丁目町会	1,026	269	26.2	131	12.8
諏訪2丁目町会	1,657	343	20.7	185	11.2
羽沢3丁目町会	2,849	720	25.3	415	14.6
鶴馬1丁目町会	3,055	567	18.6	256	8.4
前谷町会	1,024	383	37.4	218	21.3
鶴馬関沢町会	2,975	698	23.5	349	11.7
打越町会	1,532	517	33.7	274	17.9
鶴瀬東1丁目町会	1,507	310	20.6	149	9.9
鶴瀬東2丁目北町会	1,433	387	27.0	218	15.2
鶴瀬東2丁目南町会	2,767	512	18.5	264	9.5
合計	22,518	5,540	24.6	2,888	12.8

2 施設など

- | | | | |
|-------------------|-----|-------------------|-----|
| ① 介護老人福祉施設(特養) | 1ヶ所 | ⑦ 地域密着型通所介護 | 1ヶ所 |
| ② 介護老人福祉施設(小規模特養) | 1ヶ所 | ⑧ 認知症デイ | 0ヶ所 |
| ③ 介護老人保健施設 | 0ヶ所 | ⑨ 定期巡回随時対応型訪問介護看護 | 1ヶ所 |
| ④ グループホーム | 1ヶ所 | ⑩ 居宅介護支援事業所 | 5ヶ所 |
| ⑤ 有料老人ホーム | 2ヶ所 | ⑪ 公民館・交流センター | 1ヶ所 |
| ⑥ 小規模多機能 | 1ヶ所 | | |

3 令和2年度活動評価及び課題

<評価>

職員の体制が整わない1年となりました。高齢者のみでなく社会全体で大きく生活様式が変わりました。センターとして何が出来るのか・何をすべきか迷いながらの1年でした。年末に1回オレンジカフェを実施することが出来ました。高齢者の方の笑顔や声掛けに力を頂きました。相談件数が一時減っていましたが徐々に戻りつつあります。特に電話相談の件数が増えています。またケアマネジャーからの相談も多く対応に苦慮されるケースが多いと感じます。

<課題>

地域に参加する行事は中止で、地域ケア会議も計画どおりに行うことが出来ませんでした。感染防止対策を実施しながら業務が滞ることなく遂行できるよう、今までとは違う対応や方法が必要だと感じています。

4 令和3年度活動計画

富士見市高齢者あんしん相談センター運営方針に従って実施いたします。

(1) 総合相談支援業務

- ・各関係機関と連携し様々な相談内容に対応します。
- ・的確な状況把握を行い、支援につなぎます。
- ・地域に住む高齢者の生活状況把握のため実態把握に努め対応します。
- ・高齢者サロンへの参加や介護予防講座等で地域の社会資源を把握し、情報共有し積極的に地域住民への啓発活動に努めます。

(2) 権利擁護

- ・高齢者虐待防止の普及啓発を行い、速やかに高齢者福祉課と連携を図り適切な対応を行います。
- ・成年後見制度の啓発や、申し立てにあたっての相談等、支援に取り組み、社会福祉協議会や成年後見センターふじみ等とも連携を図り対応します。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

- ・ケアマネジャーが関連機関と連携し地域の社会資源を有効に活用しているよう、地域の連携・協力体制を作ります。
- ・個々の高齢者への支援方針に対応し高齢者あんしん相談センターの役割を明確にして支援します。

(4) 介護予防ケアマネジメント

- ・現在の状態の維持・改善が図れるように自立支援に向けた介護予防サービスを作成します。
- ・公正中立な立場でサービス事業所を選定します。

(5) 地域ケア会議の実施

- ・地域の課題やニーズを把握しその解決に向けて協議を行う地域ケア圏域会議を開催します。
- ・ケアマネジャーが担当するケアプランを通して自立支援に資するケアマネジメント支援を行う地域ケア個別会議を行います。

(6) 認知症総合相談

- ・オレンジカフェや認知症サポーター養成講座を行います。
- ・認知症地域支援推進員としてオレンジダイヤル・アルツハイマーデーに合わせたイベント等を実施します。認知症初期集中支援チームとも連携を取ります。また認知症地域ケア相談室の周知を行います。

(7) 医療と介護の連携

(8) 生活支援体制の充実に向けたニーズの把握

(9) 家族介護支援

- ・教室の開催や状況に合わせた方法で介護者への対応を図ります。

(10) その他

- ・他高齢者あんしん相談センターとの連携を取り相互の活動の質の向上に努めます。感染防止対策を十分に行い、事業を実施いたします。ZOOM等を使用し、会議の企画や他の研修にも積極的に参加し自己研鑽に努めます。

地域包括支援センターふじみ苑サービス区分 資金収支予算書(当初予算)

(自)令和 3年 4月 1日(至)令和 4年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A)-(B)	備考	
収入	介護保険事業収入	25,410,000	25,264,000	146,000		
	居宅介護支援介護料収入	1,501,000	1,076,000	425,000		
	介護予防支援介護料収入	1,501,000	1,076,000	425,000		
	その他の事業収入	23,909,000	24,188,000	△ 279,000		
	受託事業収入	23,796,000	24,080,000	△ 284,000		
	参加費収入	3,000	6,000	△ 3,000		
	その他の事業収入	110,000	102,000	8,000		
	受取利息配当金収入		1,000	△ 1,000		
	その他の収入	82,000		82,000		
	受入研修費収入	60,000		60,000		
	利用者等外給食費収入	22,000		22,000		
	事業活動収入計(1)	25,492,000	25,265,000	227,000		
事業活動による収支	支出	人件費支出	24,129,000	21,694,000	2,435,000	
		職員給料支出	12,900,000	12,654,000	246,000	
		職員賞与支出	3,910,000	3,845,000	65,000	
		非常勤職員給与支出	1,977,000	1,977,000	0	
		派遣職員費支出	2,192,000		2,192,000	
		退職給付支出	470,000	564,000	△ 94,000	
		法定福利費支出	2,680,000	2,654,000	26,000	
		事業費支出	1,207,000	1,302,000	△ 95,000	
		給食費支出	37,000	37,000	0	
		水道光熱費支出	180,000	198,000	△ 18,000	
		消耗器具備品費支出	65,000	67,000	△ 2,000	
		保険料支出	125,000	117,000	8,000	
		賃借料支出	547,000	795,000	△ 248,000	
	車輛費支出	253,000	88,000	165,000		
	事務費支出	1,464,000	865,000	599,000		
	福利厚生費支出	97,000	97,000	0		
	職員被服費支出	60,000	60,000	0		
	旅費交通費支出	20,000	20,000	0		
	研修研究費支出	132,000	84,000	48,000		
	事務消耗品費支出	730,000	179,000	551,000		
	修繕費支出	64,000	44,000	20,000		
	通信運搬費支出	240,000	229,000	11,000		
	会議費支出	7,000	9,000	△ 2,000		
	業務委託費支出	36,000	37,000	△ 1,000		
	手数料支出	6,000	6,000	0		
	租税公課支出	30,000	30,000	0		
	保守料支出	32,000	32,000	0		
諸会費支出	10,000	38,000	△ 28,000			
	事業活動支出計(2)	26,800,000	23,861,000	2,939,000		
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△ 1,308,000	1,404,000	△ 2,712,000		
施設整備等による収支	収入					
		施設整備等収入計(4)				
	支出					
		施設整備等支出計(5)				
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)					
その他の活動による収支	収入					
		サービス区分間繰入金収入	1,474,000		1,474,000	
		その他の活動収入計(7)	1,474,000		1,474,000	
	支出					
		積立資産支出	166,000	168,000	△ 2,000	
	退職給付引当資産支出	166,000	168,000	△ 2,000		
	サービス区分間繰入金支出		1,236,000	△ 1,236,000		
	その他の活動支出計(8)	166,000	1,404,000	△ 1,238,000		
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	1,308,000	△ 1,404,000	2,712,000		
	予備費支出(10)					
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0		
	前期末支払資金残高(12)					
	当期末支払資金残高(11)+(12)	0	0	0		

高齢者あんしん相談センター活動計画(令和3年度)

《高齢者あんしん相談センターえぶりわん鶴瀬 Nisi》

1 日常生活圏域(第3圏域)

(令和3年4月1日現在)

町会名	町会別人口	65歳以上人口	高齢化率	75歳以上人口(再掲)	後期高齢化率
勝瀬西町会	3,160	408	12.9	204	6.5
アイムふじみ野町会	2,627	800	30.5	351	13.4
上沢1丁目町会	2,977	874	29.4	515	17.3
上沢2丁目町会	1,172	320	27.3	187	16.0
上沢3丁目町会	1,571	395	25.1	217	13.8
鶴瀬西2丁目西町会	1,834	421	23.0	254	13.8
鶴瀬西2丁目南町会	877	243	27.7	115	13.1
鶴瀬西2丁目北町会	1,285	441	34.3	287	22.3
鶴瀬西2丁目栄町会	530	115	21.7	75	14.2
鶴瀬西3丁目東町会	1,588	433	27.3	261	16.4
鶴瀬西3丁目西町会	1,490	460	30.9	271	18.2
合計	19,111	4,910	25.7	2,737	14.3

2 施設など

- | | | | |
|-------------------|-----|--------------|-----|
| ① 介護老人福祉施設(小規模特養) | 1ヶ所 | ⑥ 地域密着型通所介護 | 1ヶ所 |
| ② 介護老人保健施設 | 1ヶ所 | ⑦ 認知症デイ | 1ヶ所 |
| ③ グループホーム | 2ヶ所 | ⑧ 居宅介護支援事業所 | 2ヶ所 |
| ④ 有料老人ホーム | 1ヶ所 | ⑨ 公民館・交流センター | 1ヶ所 |
| ⑤ 小規模多機能 | 1ヶ所 | | |

3 令和2年度活動評価及び課題

<評価>

今年度は、コロナ禍で活動は十分にできませんでした。日々の相談対応は本人からの電話相談が多く、困りごとを実際に聞き取ることができました。戸別訪問での実態把握では、ポスティングによる啓発活動に力を入れ、チラシをみて支援につながるケースが見受けられるようになりました。認知症初期集中支援チームの支援やサービスについて、家族の理解に苦しむケースがあり、保険者に相談しながら対応に苦慮することも少なくありませんでした。研修会へは、Web、Zoomでの参加が中心になり、取り組みに対しての設備環境も整えました。

<課題>

地域の民生委員との繋がりや関りを重視し、地域に出向く体制をとるために情報の共有が必要だと感じています。オレンジカフェの開催も内容を検討しながら、生活スタイルの変化に順応し、展開していくことが必要であると感じています。

4 令和3年度活動計画

(1) 介護予防ケアマネジメント事業

- ① 地域住民の健康づくりや介護予防の啓発活動に努め、要支援者や事業対象者の方の、一人ひとりの状況に合わせた介護予防ケアマネジメントを実施し、高齢者が生きがいをもって生活ができるよう支援します。
- ② 要支援者や事業対象者の方に対するケアマネジメントにおいて、利用者の状況に合わせ社会資源の利用を含めたケアプランの作成、モニタリング、評価を実施し、自立を目標とした継続的な支援をします。

(2) 総合相談支援事業

- ① 高齢者が安心して相談できる拠点としての役割を果たせるよう、電話だけでなくメールなどで相談を受ける体制を作ります。
- ② 地域に住む高齢者の生活状況の確認をするための実態把握を行い、早期の支援や対応に取り組みます。
- ③ 見守り体制（高齢者見守りネットワーク）の構築と、関係機関とのネットワークの拡充と連携の強化を図ります。

(3) 権利擁護事業

- ① 高齢者に対する虐待の防止・早期発見・虐待者への支援を行います。
- ② 消費者被害防止、権利擁護に関する講演会等を開催したり、パンフレットによる啓発活動、適切な対応により被害を未然に防ぐように支援します。
- ③ 成年後見制度の相談や利用支援に努めます。

(4) 包括的・継続的ケアマネジメント事業

- ① 介護支援専門員の相談支援や、必要に応じ指導や助言を行います。介護支援専門員の資質の向上を図るための支援を行います。
- ② 支援困難事例への指導や助言を必要に応じて行います。

(5) 認知症地域支援・ケア向上支援

- ① 認知症地域支援推進員活動、認知症初期集中支援チームと連携を行います。
- ② オレンジカフェを隔月に開催。認知症サポーター養成講座を開催し、認知症の理解を深め、認知症の方を地域で支えるネットワーク作りを行います。

(6) その他

- ① 地域ケア会議（圏域・個別）を開催します。
- ② 介護者教室を開催し介護者の支援を行います。
- ③ 在宅医療と介護の連携を図ります。
- ④ 生活支援体制整備事業への協力を行います。
- ⑤ 職員のスキルアップのために各種研修に参加します。

資金収支予算内訳表

令和3年4月1日

(単位：円)

勘定科目		えぶりわん鶴瀬 Nisi	合計	
事業活動による収支	収入	公益事業収益	26,005,482	26,005,482
		受託事業収益	26,005,482	26,005,482
		介護予防支援介護予防ケア 包括受託事業（富士見市）	2,962,174	2,962,174
		加算事業	22,980,000	22,980,000
			63,308	63,308
		受取利息配当金収入	1,000	1,000
		受取利息配当金収入	1,000	1,000
		事業活動収入計（1）	26,006,482	26,006,482
	支出	人件費支出	22,310,000	22,310,000
		職員給料支出	16,900,000	16,900,000
		職員賞与支出	3,500,000	3,500,000
		法定福利費支出	1,910,000	1,910,000
		事業費支出	1,217,000	1,217,000
		事業委託費（事業）	84,000	84,000
		通信費	20,000	20,000
		水道光熱費支出	280,000	280,000
		消耗器具備品費支出	84,000	84,000
		保険料支出	100,000	100,000
		賃借料支出	600,000	600,000
		車輛費支出	27,000	27,000
雑支出		22,000	22,000	
事務費支出		443,482	443,482	
福利厚生費支出		70,482	70,482	
旅費交通費支出		6,000	6,000	
研修研究費支出		4,000	4,000	
事務消耗品費支出		32,000	32,000	
修繕費支出		100,000	100,000	
通信運搬費支出		18,000	18,000	
業務委託費支出		134,000	134,000	
手数料支出		19,000	19,000	
保険料支出	32,000	32,000		
租税公課支出	21,000	21,000		
諸会費支出	2,000	2,000		
雑支出	5,000	5,000		
支払利息支出	98,000	98,000		
支払利息支出	98,000	98,000		
事業活動支出計（2）	24,068,482	24,068,482		
事業活動資金収支差額（3）＝（1）－（2）		1,938,000	1,938,000	

に 施 よ 設 る 設 収 備 支 等	収 入	施設整備等収入計 (4)		
	支 出	設備資金借入金償還支出	442,000	442,000
		設備資金借入金元金償還支出	442,000	442,000
		施設設備投資出 (5)	442,000	442,000
			施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)	-442,000
そ の 他 の 活 動 に よ る 収 支	収 入	その他の活動収入計 (7)		
	支 出	長期運営資金借入金元金償還支出	284,000	284,000
		長期運営資金借入金元金償還支出	284,000	284,000
		積立資産支出	32,000	32,000
		退職給付引当資産支出	32,000	32,000
		その他の活動支出計 (8)	316,000	316,000
			その他の活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)	-316,000
		予備費支出 (10)		
		当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)	1,180,000	1,180,000

		前期末支払資金残高 (12)		
		当期末支払資金残高 (11) + (12)	1,180,000	1,180,000

高齢者あんしん相談センター活動計画(令和3年度)

《高齢者あんしん相談センターみずほ苑》

1 日常生活圏域(第4圏域)

(令和3年4月1日現在)

町会名	町会別人口	65歳以上人口	高齢化率	75歳以上人口(再掲)	後期高齢化率
鶴瀬西1丁目二葉町会	2,300	489	21.3	244	10.6
鶴瀬西1丁目西町会	574	126	22.0	72	12.5
関沢2丁目東町会	1,723	471	27.3	264	15.3
関沢2丁目旭町会	2,855	770	27.0	428	15.0
関沢3丁目東町会	3,672	1,045	28.5	576	15.7
関沢3丁目西町会	1,442	431	29.9	251	17.4
西みずほ台1丁目南町会	1,888	467	24.7	226	12.0
西みずほ台2丁目町会	1,328	277	20.9	138	10.4
西みずほ台3丁目町会	1,204	384	31.9	212	17.6
針ヶ谷1丁目町会	3,376	590	17.5	289	8.6
針ヶ谷2丁目町会	2,039	361	17.7	157	7.7
合計	22,401	5,411	24.2	2,857	12.8

2 施設など

- | | | | |
|-------------------|-----|---------------|-----|
| ① 介護老人福祉施設(小規模特養) | 1ヶ所 | ⑥ 地域密着型通所介護 | 3ヶ所 |
| ② 介護老人保健施設 | 0ヶ所 | ⑦ 認知症デイ | 1ヶ所 |
| ③ グループホーム | 1ヶ所 | ⑧ 居宅介護支援事業所 | 4ヶ所 |
| ④ 有料老人ホーム | 1ヶ所 | ⑨ 公民館・交流センター等 | 3ヶ所 |
| ⑤ 小規模多機能 | 1ヶ所 | | |

3 令和2年度活動評価及び課題

<評価>

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、訪問の自粛があり、年間の高齢者実態把握数は171件と前年度に比べて半数以下となりました。相談方法では、「訪問」の相談が減り、「電話」での相談が前年度より増加しています。

高齢者あんしん相談センターの周知活動として、圏域内の80歳以上の高齢者に対し、チラシを作成し配布を行ったり、認知症サポーター養成講座をオンラインで開催するなど、コロナ渦でできる活動を模索した年となりました。

<課題>

コロナ渦において、今必要なことをどのように行っていくか、オンラインの活用など新しい活動方法を考え、積極的に取り組んでいく必要があると感じています。

また、複合的な問題を抱えた相談が増加している傾向にあり、専門職としてのスキルアップを図るとともに、スムーズな連携が図れるよう関係機関、民生委員、地域住民を含めた一体的な関係作りを行っていきたいと思っております。

4 令和3年度活動計画

(1) 総合相談事業

- ・高齢者世帯へのチラシの配布などを行い、隠れた問題やニーズを発見し、早期支援や対応に取り組みます。
- ・コロナ渦において変化する地域の社会資源を把握し、必要な高齢者に情報提供ができるよう努めます。
- ・オンラインを活用した「認知症サポーター養成講座」等を開催し、地域への啓発活動をすすめます。

(2) 権利擁護事業

- ・高齢者虐待の早期発見、早期対応に努め、把握時には市役所と連携を図りながら、速やかに複数の職員で自宅訪問や状況の確認等の対応を進めます。
- ・消費者被害防止についての啓発活動に努めます。
- ・成年後見制度の利用について、社会福祉協議会や成年後見センターふじみ等関係機関と連携を図り対応します。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント事業

- ・他包括と共に、介護支援専門員に対して、困難事例に対する支援や情報交換の場（ケアマネサロン「クラージュ」）の提供、研修会を実施し、地域の介護支援専門員のマネジメント力の向上とネットワークの強化を図ります。

(4) 介護予防ケアマネジメント事業

- ・一般介護予防事業を担当する市健康増進センターと連携し、介護予防の啓発に取り組みます。
- ・現在の状況・維持改善が図れるように自立支援に向けた介護予防サービス計画を作成します。

(5) 地域ケア会議の実施

- ・地域の課題やニーズを把握して情報を共有し、その解決に向けて検討する地域ケア圏域会議を年3回実施します。
- ・介護支援専門員が担当しているケアプランに対してケアマネジメント支援を行う個別会議を年3回実施します。

(6) 認知症総合支援

- ・より多くの方が認知症についての理解を深めることができるよう、チラシ配布活動などの普及啓発活動を行います。
- ・認知症の介護技術や方法に関する相談の窓口として、「認知症地域ケア相談室」や認知症地域支援推進員による電話相談「オレンジダイヤル」を設け対応していきます。

(7) 医療と介護の連携

- ・住み慣れた地域で在宅生活を送れるよう、医療機関や介護事業所関係者との連携を図ります。

(8) 生活支援体制の充実に向けたニーズの把握

- ・高齢者が住みやすい地域づくりに向けて、生活支援コーディネーターと連携し活動いたします。

(9) 家族介護支援

- ・適切な介護の知識・技術の習得や介護保険サービスの利用等を内容とした介護者教室を開催します。
- ・介護者の生活状況に応じた相談方法（メール等）で情報提供を行います。

(10) その他

- ・高齢者あんしん相談センターの周知活動と、他のセンターとの連携をし、活動の質の向上を図ります。

地域包括支援センターサービス区分 資金収支予算書(当初予算)

高齢者あんしん相談
センターみずほ苑

(自)令和 3年 4月 1日(至)令和 4年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A)-(B)	
収入	介護保険事業収入	27,598,000	26,782,000	816,000	
	居宅介護支援介護料収入	3,415,000	3,433,000	18,000	
	介護予防支援介護料収入	3,415,000	3,433,000	18,000	
	その他の事業収入	24,183,000	23,349,000	834,000	
	受託事業収入(公費)	24,183,000	23,349,000	834,000	
	受取利息配当金収入	1,000	1,000	0	
	その他の収入	297,000	36,400	260,600	
	受入研修費収入	60,000	22,000	38,000	
	利用者等外給食費収入	216,000	1,400	214,600	
	雑収入	21,000	13,000	8,000	
	雑収入	21,000	13,000	8,000	
	事業活動収入計(1)		27,896,000	26,819,400	1,076,600
	事業活動による収支	人件費支出	20,706,000	19,460,000	1,246,000
職員給料支出		13,683,000	13,156,000	527,000	
職員賞与支出		3,032,000	2,707,000	325,000	
非常勤職員給与支出		1,129,000	710,000	419,000	
退職給付支出		540,000	445,000	95,000	
法定福利費支出		2,322,000	2,442,000	120,000	
事業費支出		515,000	894,000	379,000	
給食費支出			9,000	9,000	
保健衛生費支出		24,000	32,000	8,000	
教養娯楽費支出		30,000		30,000	
日用品費支出		42,000	42,000	0	
消耗器具備品費支出		156,000	704,000	548,000	
保険料支出		8,000	8,000	0	
賃借料支出		216,000		216,000	
車輛費支出		39,000	99,000	60,000	
事務費支出		2,417,000	2,411,000	6,000	
福利厚生費支出		146,000	109,000	37,000	
旅費交通費支出		3,000	1,000	2,000	
研修研究費支出		115,000	35,000	80,000	
事務消耗品費支出		48,000	27,000	21,000	
印刷製本費支出		90,000	120,000	30,000	
水道光熱費支出		696,000	626,000	70,000	
修繕費支出		50,000	19,000	31,000	
通信運搬費支出		198,000	168,000	30,000	
会議費支出		12,000	1,000	11,000	
広報費支出			318,000	318,000	
業務委託費支出		74,000	74,000	0	
手数料支出		1,000	1,000	0	
保険料支出		28,000	20,000	8,000	
賃借料支出		536,000	534,000	2,000	
土地・建物賃借料支出		144,000	144,000	0	
租税公課支出		20,000	20,000	0	
保守料支出		199,000	182,000	17,000	
渉外費支出		45,000	0	45,000	
諸会費支出		12,000	12,000	0	
支払利息支出		233,000	252,000	19,000	
その他の支出	204,000	1,400	202,600		
利用者等外給食費支出	204,000	1,400	202,600		
事業活動支出計(2)		24,075,000	23,018,400	1,056,600	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		3,821,000	3,801,000	20,000	
収入					

地域包括支援センターサービス区分 資金収支予算書(当初予算)

(自)令和 3年 4月 1日(至)令和 4年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A)-(B)
施設整備等による収支	収入			
	施設整備等収入計(4)			
	設備資金借入金元金償還支出	1,668,000	1,658,000	10,000
	固定資産取得支出	360,000		360,000
	車輜運搬具取得支出	360,000		360,000
	施設整備等支出計(5)	2,028,000	1,658,000	370,000
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	2,028,000	1,658,000	370,000
その他の活動による収支	収入			
	その他の活動収入計(7)			
	拠点区分間繰入金支出	1,793,000	2,143,000	350,000
	その他の活動支出計(8)	1,793,000	2,143,000	350,000
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	1,793,000	2,143,000	350,000
	予備費支出(10)			
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0
	前期末支払資金残高(12)	793,653	793,653	0
	当期末支払資金残高(11)+(12)	793,653	793,653	0

高齢者あんしん相談センター活動計画(令和3年度)

《高齢者あんしん相談センターひだまりの庭むさしの》

1 日常生活圏域(第5圏域)

(令和3年4月1日現在)

町会名	町会別人口	65歳以上人口	高齢化率	75歳以上人口(再掲)	後期高齢化率
水谷第1町会	4,484	1,065	23.8	497	11.1
水谷第2町会	2,257	402	17.8	190	8.4
水谷第3町会	3,427	706	20.6	379	11.1
貝塚町会	1,542	628	40.7	349	22.6
水谷東1丁目町会	875	300	34.3	190	21.7
水谷東2丁目町会	2,222	798	35.9	460	20.7
水谷東3丁目町会	2,137	663	31.0	382	17.9
榎町町会	549	173	31.5	79	13.5
東みずほ台1丁目町会	1,622	276	17.0	104	6.4
東みずほ台2丁目町会	2,897	495	17.1	209	7.2
東みずほ台3・4丁目町会	2,760	638	23.1	313	11.3
合計	24,772	6,144	24.8	3,147	12.7

2 施設など

- | | | | |
|-------------------|-----|--------------|-----|
| ① 介護老人福祉施設(小規模特養) | 1ヶ所 | ⑥ 地域密着型通所介護 | 1ヶ所 |
| ② 介護老人保健施設 | 0ヶ所 | ⑦ 認知症デイ | 1ヶ所 |
| ③ グループホーム | 0ヶ所 | ⑧ 居宅介護支援事業所 | 3ヶ所 |
| ④ 有料老人ホーム | 3ヶ所 | ⑨ 公民館・交流センター | 2ヶ所 |
| ⑤ 小規模多機能 | 1ヶ所 | | |

3 令和2年度活動評価及び課題

<評価>

昨年度はコロナウイルスの感染拡大防止のための緊急事態宣言が発令される中に始まり、緊急事態宣言が明ける5月末までは相談が極端に少なく、訪問することは必要最低限にしていました。

緊急事態宣言後は少しずつ相談が戻ってきましたが、人との接触を避けるように言われる中、感染防止対策を意識しながら活動しました。

個別の相談には必要に応じ訪問しなければならず行ってきましたが、人が集まって行う会議や市民向けの講座、オレンジカフェなどは思うように活動できませんでした。

そんな中、少し成果を出せたのが、専門職間でオンラインによるやり取りができるようになってきたことです。新しく獲得したことを、今後市民の方との間に活用していければと思います。

<課題>

従来の相談でも複合的な問題を抱えたケースの対応に苦慮しており、包括内でのチームアプローチや他機関との連携がますます必要となっていくと感じています。またコロナ禍により別居する家族との往来ができないことにより、子が高齢の親の様子が把握できず、気が付かないまま問題が大きくなってしまっていたケースなども見受けられました。

受け身の相談対応だけでなく、訪問による問題の早期発見からの家族への連絡といったことも考えていかなければならないと感じています。

4 令和3年度活動計画

(1) 総合相談・支援事業

- ・相談に対し迅速な対応に努めます。
- ・地域との連携を継続し、医療機関との協力、地域の会議への参加、意見交換会など行い地域における情報収集を行っていきます。
- ・訪問により、支援が必要な方の初期アプローチを強くしていきます。

(2) 介護予防ケアマネジメント事業

- ・事業対象者や要支援者に対し、住み慣れた地域での生活を継続するため、適切な介護サービスを円滑に提供できるよう努めていきます。
- ・職員の専門性を高め、自立支援に向けた取り組みを行っていきけるように努めます。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント事業

- ・介護支援専門員からの相談事例などに積極的に介入し、後方支援の役割を担っていきます。
- ・他包括とも協力し、ケアマネジメント向上のための研修会を開催していきます。

(4) 権利擁護事業

- ・高齢者虐待防止・消費者被害防止、成年後見制度支援においては啓発活動を行っていきます。資料の配布など人の集まらない方法を考えていきます。また各種機関との連携を強化し、支援体制を強めていきます。

(5) その他

- ・これまで参加してきたサロンや地域の会議、出張相談会や民協との意見交換会などの開催について、地域の方や関係者とも協議し感染拡大防止に配慮した方法で参加・実施していきます。
- ・見守りネットワークなどを進め、まだ関わりの少ない地域においても、連携が取れるように周知活動に力を入れていきます。
- ・地域ケア会議（圏域・個別）を行っていきます。必要に応じオンラインでの開催なども取り入れていきます。
- ・認知症施策を推進し、オレンジカフェの運営や認知症地域支援員推進の活動、認知症初期集中支援チームの活動を行います。

資金収支予算内訳表
令和3年4月1日

高齢者あんしん相談センター
ひだまりの庭むさしの

(単位：円)

勘定科目		合計	地域包括 ひだまりの庭	
収入	0165 介護保険事業収入	26,908,000	26,908,000	
	0171 居宅介護支援介護料収入	2,738,000	2,738,000	
	8162 介護予防支援介護料収入	2,738,000	2,738,000	
	0173 その他の事業収入	24,170,000	24,170,000	
	8183 受託事業収入	24,170,000	24,170,000	
	0200 受取利息配当金収入	1,000	1,000	
	8541 受取利息配当金収入	1,000	1,000	
	0201 その他の収入	88,000	88,000	
	8612 利用者等外給食費収入	81,000	81,000	
	8613 雑収入	7,000	7,000	
	事業活動収入計(1)	26,997,000	26,997,000	
事業活動による収支	支出	0129 人件費支出	26,248,000	26,248,000
		7112 職員給料支出	16,149,000	16,149,000
		7113 職員賞与支出	4,372,000	4,372,000
		7114 非常勤職員給与支出	2,009,000	2,009,000
		0001 給与	1,959,000	1,959,000
		0002 賞与	50,000	50,000
		7116 退職給付支出	534,000	534,000
		7117 法定福利費支出	3,184,000	3,184,000
		0001 社会保険料 給与分	2,400,000	2,400,000
		0002 社会保険料 賞与分	600,000	600,000
		0003 労働保険料	184,000	184,000
		0130 事業費支出	543,000	543,000
		7215 保健衛生費支出	16,000	16,000
		7223 水道光熱費支出	120,000	120,000
		0001 電気	82,000	82,000
		0002 水道	24,000	24,000
		0003 ガス	14,000	14,000
		7225 消耗器具備品費支出	7,000	7,000
		7232 車両費支出	400,000	400,000
		0131 事務費支出	2,472,600	2,472,600
	7311 福利厚生費支出	49,000	49,000	
	7313 旅費交通費支出	4,000	4,000	
	7314 研修研究費支出	44,000	44,000	
	7315 事務消耗品費支出	63,000	63,000	
	7316 印刷製本費支出	71,000	71,000	
	7319 修繕費支出	3,000	3,000	
	7321 通信運搬費支出	204,000	204,000	
	7322 会議費支出	50,000	50,000	
	7323 広報費支出	150,000	150,000	
	7324 業務委託費支出	281,000	281,000	
	7326 保険料支出	133,000	133,000	
	0001 火災	6,000	6,000	
	0002 自動車	127,000	127,000	
	7327 賃借料支出	1,095,000	1,095,000	
	7328 土地・建物賃借料支出	12,600	12,600	
	7329 租税公課支出	20,000	20,000	
	7331 保守料支出	5,000	5,000	
	7332 渉外費支出	20,000	20,000	
	7333 諸会費支出	6,000	6,000	
	7335 雑支出	262,000	262,000	
0001 支払手数料	1,000	1,000		
0002 共助会費	261,000	261,000		
事業活動支出計(2)	29,263,600	29,263,600		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	-2,266,600	-2,266,600		
施 収				

設 整 備 等 に よ る 収 支	入	施設整備等収入計(4)			
	支 出				
			施設整備等支出計(5)		
			施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		
そ の 他 の 活 動 に よ る 収 支	収 入				
		その他の活動による収入計(7)			
	支 出	0161 サービス区分間繰入金支出	427,379	427,379	
		7673 サービス区分間繰入金支出	427,379	427,379	
		その他の活動支出計(8)	427,379	427,379	
		その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-427,379	-427,379	
	予備費支出(10)				
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	-2,693,979	-2,693,979		
前期末支払資金残高(12)			1,298,872	1,298,872	
当期末支払資金残高(11)+(12)			-1,395,107	-1,395,107	